

第 33 号

発行日 令和7年3月1日

発行者

杉戸町スポーツ少年団

広報委員会

☎ (0480) 33-1111

「スポーツで

体と心を鍛える」

杉戸町教育委員会 教育長
伊藤 美由紀



杉戸町スポーツ少年団の皆様におかれましては、日頃より生涯スポーツの普及・発展ならびに青年の育成に多大なるご尽力を賜り、深くお礼申し上げます。

また、卒団生の皆様には、長い間スポーツ少年団活動に熱心に取り組まれたことに対し、心から敬意を表すると共に、晴れて卒団を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。これまで仲間とともに歩んできたスポーツ少年団活動の経験を生かし、中学生として、さらに成長・活躍されることを祈念いたします。

さて、昨年はパリオリンピックが開催され、日本は金メダル二十個、銀メダル十二個、銅メダル十三個の計四十五個のメダルを獲得しました。金メダル数とメダル総数は、海外で開催されたオリンピックで過去最多の結果となっています。多くの活躍を見せた日本選手団

ですが、その中でも強く印象に残ったのが体操の男子団体総合の最終種目で逆転し、金メダルを獲得した日本体操男子代表選手の方々です。日本は六種目中五種目が終了した時点で一位の中国と3、267点の差があり、逆転は厳しく思えました。しかし、最終種目の鉄棒で中国がミスをする中、日本は岡慎之助選手、杉野正亮選手、橋本大輝選手が見事な演技を披露し、三点以上の差をひっくり返したのです。最終種目を前に三点以上の差がありながらも諦めることなく演技に臨み、金メダルという結果を出したその姿に、多くの方が心動かされたことでしょう。

また、団体競技で活躍した岡慎之助選手ですが、個人総合でも金メダルを獲得しました。さらに、種別の鉄棒で金メダルを獲得し、平行棒でも銅メダルを獲得しました。体操での金メダル三つ獲得は日本人選手で五十二年ぶりの快挙であり、体操で一大会四つのメダル獲得は四十年ぶりとなっています。

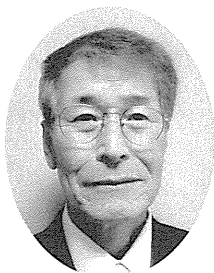
オリンピックの舞台ともなれば、一つの演技をするにしても並大抵ではないプレッシャーがあると思います。また、小さなミスが致命的となる状況で結果を残すことができたのは、普段から血の滲むような努力をしていたからであり、その努力の過程で高い精神力が身に付いたからではないでしょうか。

卒団生並びに在団生の皆様には、スポーツ活動のみならず、多くの経験をし、様々な場面で目標に向かって進んでいただきたいと思います。時には目標に届かず思い悩むこともあると思いますが、その時こそ日本体操男子代表選手の方々のように最後まで諦めずに自分のベストを尽くしてください。

結びに、杉戸町教育委員会といたしましては、これからもスポーツ少年団の皆様とともに、スポーツを通じた子どもたちの健全育成に取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご尽力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

「夢をめざして」

杉戸町スポーツ少年団 本部長
大塚 国夫



杉戸町スポーツ少年団指導者・母集団の皆様には、日頃より少年団活動の普及・発展に多大なるご支援、ご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

昨年は、二〇二四年パリオリン

ピックが開催されました。陸上競技では、女子やり投げで北口榛花選手が優勝しました。この種目では、日本初の金メダルに輝きました。

二〇二一年の東京オリンピックでは、予選六位の成績で決勝に出場しましたが、最初の三投で上位の八位以内に入らず敗退。

あれから三年、この日は一投目から大きな声をあげながらやりを投げました。厳しい表情で右手を上げ、走り、踏切板の手前でひじを引き、力強く空中へ振り上げました。やはり飛び65m80のラインを越え、優勝。

今大会の陸上競技では、金メダリストだけが鳴らす事が出来る、勝利の鐘が北口選手の手によって、力一杯鳴らされました。

人々に夢を与えてくれるスポーツ、各種スポーツをする人達のみならずオリンピックは、目を見張る一年だったと思います。

スポーツ少年団の団員の皆様、学校生活の中で一番長い小学校の六年間を充実させ、楽しい思い出を作ってください。

最後になりましたが、学校、保護者、地域の皆様、スポーツ少年団に今後ともご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

卒団生の皆様、中学に行っても頑張ってください。応援しています。

と思っています。次に五年生になつて、この技術をよく五年生では上げて、ドリブルなどが少しづつできるようになっていって、バックで運んだり、インナーラップと、オーバーラップを覚えていきました。最後の六年生では、チームをひっぱる、キャプテンを前半でやりました。プレッシャーや責任感はやつぱりあつたけど、失敗してもいいいに、対応できていてよかつたと思います。後半では副キャプテンをつとめなみとのフォローだつたりをしていきました。

もう今のメンバーでできるのがあと、二ヶ月くらいしかないし、卒業していきます。中学生ではおそらくサッカー部に入りDFとして活やくしたいし、自分の運動性を活かしてサッカーだけじゃなく、ほかの部に入つてもそこで活かしていきたいです。

佐藤 志哉

ぼくは一年生のころ諏訪に入団しました。最初は何もできず、ボールにさわろうとする事でせいっぱいでした。練習にいきたくない時もありました。練習をしていくうち、試合のなかで、上手くパスができた時、ゴールを決めることができた時はとても嬉しかったです。試合は負ける事が多かつたけれど少しずつ勝てるようになって

とても勝ちたいという気持ちが出てきました。

ぼくは、諏訪に入つて皆と一緒に頑張ることの大切さを学ぶことができた。六年間つづけることができたのは、チームメイト、代表、監督、コーチ、見守つてくれた保護者の方々のおかげです。ありがとうございます。

鈴木 志春

ぼくは、一年生の春からこの諏訪サッカー少年団に入りました。ぼくは、家での自主練をかきね三年生のころから四年生以上の試合に出させてもらいました。

今年、諏訪のキャプテン、エースという大きなプレッシャーもかかえながら、やってくるこの大きなプレッシャーを持つてサッカーするのはとてもこわくて、プレーにしばいして、いつも泣いていました。でも、そのプレッシャーに打ち勝つて点を決めたときは、そのうれしさを、仲間と分かち合いました。

そういつたすばらしい仲間たちや、コーチ保護者のみなさんに支えてもらったから今のぼくがいると思います。一年生のころから支えてくれた、コーチやチームメイト、そして保護者のみなさん、六年間ありがとうございます。そして幸せでした。

南本 波人

ぼくは、四年生の秋にこの諏訪サッカーに入団しました。ぼくたちの代には友達がたくさんいたので、入団する時は、少し安心していました。でも、練習をするたびに、みんなとの力の差に気づきました。守備でまったくボールが取れなかつたり、ブラしてはいけな

いところでパスをズラしてしまつたり、ミスをとくさんしてしまいました。ミスをするほどサッカーをするのがこわいと感じることがあり、試合に出たくなかつた。そんな時にもありました。そんな時に先輩たちや、コーチがぼくに守備の仕方などをくわしく教えてくれました。そのおかげで、サッカーの楽しさを知りました。それからたくさん練習して六年生になると、とても重要なセンターバックというポジションを、みんなの応援とともに楽しくプレーをしました。この二年間の思い出を忘れないで、中学校でも楽しくサッカーをしたいです。

井上 尚歩



私は、四年生の頃に入団しました。初めは足が速くなりたかと思

い、始めました。入団した時は、Aチームには女子が二人いたのですが、今はAチームには私しかいません。いつも不安が大きかつたのですが、みんなが優しく、不安が少なくなりました。でも、やっぱり行っていけないところがあり、みんなに迷惑かけてないかなとか男子だけの方が楽しいのかなと思うこともあつて、失敗するのが怖くなつてしまひ、やめたいと思う時もありました。でもここまで続けてこれたのはチームで、辛いことや悔しいこと、楽しいことを乗り越えてきたから続けてこれたと思います。

私が一番心に残つてる大会は、諏訪杯です。残り二分で逆転勝利しました。

私は、サッカーに入つて、たくさん経験をし、成長できました。諏訪サッカーでプレイできたことに感謝の気持ちでいっぱいです、みんなありがとう。

高崎 莉々

ぼくは、四年生の、二月に入団しました。最初は、パスもうまくできず、練習のときなどに、足を引っぱつてしまうことが多くありました。そしてぼくはどうしたらパスなどがうまくなるだろうと考えていたら、やはり平日の自主

練習だと思いました。学校から帰つたら、すぐにボールをさわ

り自分ができることをたくさんやりました。その結果、少しずつですがパスなどがうまくなつたがしました。でも、まだ試合で自主練習でやったことが、あまり生かしていませんでした。そのことで悔しくなり、泣いてしまうことが多くありました。そんな時、チームのみんなやコーチの方々にとても支えられました。少しずつ自信がつき始めたころ、キーパーにきよみをもち始めました。分らないことだらけでしたが、キーパーをやるうと考えました。キーパーとしての練習が始まり、基そのことからたくさん覚えていきました。やつと試合に出れるようになり、失点が多いなど悔しいことが、たくさんありました。

そこから、自主練習はもちろん、土日の練習でも、積極的に取り組みました。そして、六年生になると、失点やミスなどがへり、六年生の大会のニチガス杯で初めて、優秀選手賞をもらうことができました。とてもうれしかつたです。

この少年団に入つて、サッカーのことについてはもちろん、様々なことを学ぶことができました。学校も任んではるもちがう自分を受け入れて仲良くしてくれた、チームのみんなやお世話になつた、

方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

丸山 湧大

ぼくは、五年生の十一月から、諏訪サッカー少年団に入団しました。

最初は、パスも、シュートも、ドリブルもまともにできず、サッカーに行きたくない時や、もうやめたいと思った時もありました。それでも、サッカーをやりたいという気持ちが強くて、一緒に練習してくれるチームメイトとコーチたちのおかげであきらめませんでした。練習で、冷静にパスを出せたり、細かいタッチのドリブルも、少しできるようになって、シュートも、強くなるようになりました。試合にも出れるようになり、足をひっぱることもあるけど、いいプレーができたとき、コーチやチームメイトにほめられるとすごくうれしかったです。

ぼくを支えてくれた、諏訪サッカー少年団の皆さま、この一年半、本当にありがとうございました。

中島 銀弥



杉戸レッドスターズ



僕は、四年生のころに杉戸レッドスターズに入団しました。始めたころは、ボールの打ち方などがあまり分からず、バットになかなかあたりませんでした。けれど僕はあきらめずバッティング練習や先輩達をお手本にして練習をしました。そして野球が大好きになりました。このように思えたのも、牧内監督、コーチのみなさん、家族の協力のおかげです。レッドで教わった事を活かして中学校でも野球をがんばっていききたいです。

小島 琉臣

僕が杉戸レッドスターズに入団したのは、三年生の一月でした。

入団したてのころはフライも取れず、打席に入ると緊張してヒットを打てることも少なかったですが、監督やコーチの熱心な指導のおかげで徐々に練習試合や試合で結果を残せ始めて、野球の楽しさを改めて実感できました。中でも印象に残っていることは練習試合で満塁ホームランを打った時です。ホームに帰るころには自然に笑顔になっていました。本当に監督、コーチ、自分を支えてくださったみなさん、ありがとうございました。

赤荻 琉生

僕が野球を始めたのは五年生のころです。五年生という周りと比べて始めるのが遅く全く練習についていけませんでした。守備ではエラーが多くまともに捕ることができずバッティングでも三振ばかりでした。くやしくて少しでも上手くなるうと時間さえあればお父さんに自主練を付き合ってもらいました。その結果、ボールを少しずつ捕れるようになり、バッティングでも打てるが増えてきました。また自分の代ではエラーも減りました。ぼくは野球で「努力」の大切さを学びました。ここで学んだことを中学校で生かしていきたいです。

石川 湊

杉戸西サッカー



を見るのが大切ということを知りました。たくさん練習は大変だったけれど、練習が嫌になってしまったときも、チームメイトと一緒に頑張つてやり続けることが出来ました。このことを活かして中学校のサッカー部でもサッカーを頑張っていきたいと思いました。

布袋田 慶太

杉戸西サッカーのキャプテンとなり、みんなで試合に勝つためにはどうしたらいいかを話し合いました。そしてサッカーの技術を磨き、試合では得点を決めたりアシストをしたりして練習の成果が出たときにはとても嬉しかったです。また試合中に気持ちが熱くなったときはコーチが冷静に！と声をかけてくれて、さらに仲間と協力することで成長することができました。ありがとうございました。

伊藤 明博

サッカーをやりつづけた六年間、六年間で学んだことは、ドリブルの時は下ばかり見ずに周りの仲間

平床 渉

ディフェンス、高学年になると、他のポジションと色々なポジションをやらせてもらいました。この

経験をいかして、中学生になっても頑張ります。

岩崎 煌介

ぼくは杉戸西に入り、たくさんコーチに教えてもらいました。最初は、全然出来なかつたけど、みんなと練習をし、うまくなれました。中学校に行ってもサッカーをがんばり、みんなに勝ちたいです。

小野 幸輔

杉戸西サッカーに入ってから、サッカーの楽しさや仲間の大切さを知りました。その中でも一番思い出に残っていることは、初めて四種リーグでゴールを決めたことです。普段はディフェンスなのであまりゴールに関わることがないので、より嬉しかったです。また、ミスをしてしまった時も、励ます声かけをしてくれて嬉しかったです。県大会へはもう一歩だったけど、これを糧に中学サッカーも頑張りたいです。

片倉 健太郎

私は年中の頃から始めて、約八年間お世話になりました。

始めはサッカーがあまり上手ではありませんでした。しかし、たくさん練習をしてスタメンに選ばれるようになりました。特に心に残っているのは、PKです。次を決めたら勝てる所で私の順番が来ました。その時は心臓が飛び出る

ほど緊張しました。シュートが決まった時は、本当に嬉しかったです。教えてくれたコーチ、支えてくれたお父さん、お母さんありがとうございました。

倉 又 寛 奈

僕が杉戸西サッカーで学んだことは、声かけの大切さです。僕がミスをしてしまった時に、仲間が「ドンマイ！」や、「大丈夫！」と声をかけてくれたおかげで、安心できました、とても励みになりました。

これから先、学んだことをサッカーではもちろん、サッカー以外の場面でも活かし、周りの人にも励みになる言葉をかけられるようにしていきたいです。お母さんやお父さん、コーチの皆さん、年長から七年間ありがとうございました。

須田 結斗

この八年間、大会や練習、親子サッカーや合宿などの行事で沢山のことを体験出来ました。特にコーチ達に教えて貰ったことが出て来て、それを試合に活かせることが嬉しかったです。杉戸西で過ごした日々を大切に、これからも頑張っていきたいと思えます。

高橋 和 紗

僕は、五年生からサッカーを始めました。遅くから始めたけど、技術や戦術の理解度などの面では

少し成長できたと思うし、中学校が一緒になる友達と仲良くなることもできたので良い二年間になりました。中学生になると練習も厳しくなり、大変になるかもしれないけど中学校でもサッカーを頑張りたいです。二年間ありがとうございました。

多ヶ谷 英 吉

私はサッカーを二年生から始めて四年間が経ちました。杉戸西サッカーに入っているいろいろなことを学びました。特に仲間がいる大切さを知りました。練習は、とても大変でした。コーチには相手の抜き方やシュートの打ち方などたくさん教えてもらいました。とても感謝でいっぱいです。四年間ありがとうございました。

平井 百 桃

僕は五年の九月から西サッカーに入りました。みんなより少し遅めでしたが、楽しくサッカーが出来た事、優しい仲間に出会えた事、サッカーのルールもあまり知らなかった僕はこの一年半で、沢山の事を覚え自分なりに成長できたと思います。本当にありがとうございました。

深澤 桂 太

僕はサッカーが大好きです。点を決めたときは、毎回サッカーって楽しいと感じていました。僕が楽しいと思える時間を作っ

てくれるのは、サッカーを教えてくれたコーチ達や、送迎してくれた親のおかげだと思っています。そんなコーチ達への最大の恩返しはいろんなところで教えてもらったことをいかすことだと思います。中学校、高校でも教えてもらったことをいかしたいです。

細谷 浩 真

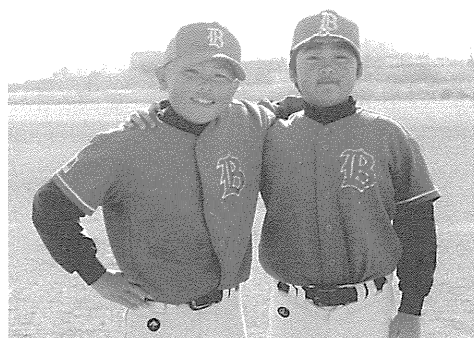
二年生から杉戸西サッカーでサッカーをしてきました。最初は足が速くなりたかつたので始めてみました。やっていくうちに試合とかにも出られてだんだんと楽しくなりました。寒い日とか風の強い日の練習は苦手ですが、試合は大好きです。

中学生になってもサッカーをやりたいと思います。試合に応援に来てくれた、父ちゃん、母ちゃん、コーチ、団のみんな、ありがとうございました。

松浦 蒼 太



堤根ブルービッキーズ



僕がブルービッキーズに入団するきっかけになったのは、僕の父さんの弟の野球の試合を見て、カッコいいなーと思って野球を始めました。野球をはじめたころはドキドキしてちゃんとできるか心配でした。でも、監督やコーチが野球を教えてくれたおかげで少しずつ野球ができるようになりました。野球を六年間やってそのまいうまくはならなかつたけど、監督やコーチ、チームメイトのおかげでここまで野球をしてこれました。へたなキャプテンだったけどいままで一緒に野球をしてくれてありがとうございました。そしてこれからもがんばってください。僕に

コーチや監督の皆さんありがとうございました。

箱田 聖尚

僕は堤根ブルービッキーズの体験会に参加したことをきっかけに入団しました。

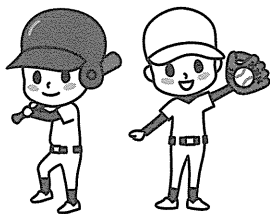
始めた頃はボールの取り方やバットの振り方など分からなくて三振やエラーが多かったです。でも、チームの監督や指導者の皆さんがたくさん教えてくださったおかげで上達したと思います。

そして五年生になって試合でレフトを任せられてうれしかったです。任せられてから良いプレーをしたり、ヒットを多く打てました。

六年生になると内野を守らせられたりしました。思い通りのプレーや、三塁打も打てるようになりました。

監督、指導者の皆さん。そしてお家の人には感謝がありません。三年間本当にありがとうございました。

佐藤 永樹



杉戸ジュニアテニス



僕は、三年生の時に入団しました。最初はラケットにボールを当てる事も難しかったですが、上手な先はい方を見て、上手くなりたいたいと思家でも毎日たくさん練習しました。テニスが楽しくなり、関東や全国大会にも出場できるようになりました。

杉戸ジュニアでは、監督やコーチの方々に礼儀や技術など色々な事を教わり、お父さん、お母さんにはたくさん試合に連れて行ってもらいました。これからも周りの人への感謝の気持ちを忘れずにテニスを続けていきたいです。

青木 陽音

ぼくが、杉戸ジュニアに入団したのは、四年生の春でした。初めて

テニスラケットをにぎってコートに立った日、とても緊張した事を今でもよく覚えています。ボールがラケットに当たるようになりそれからネットをこえるようになりできる事がどんどん増え、団の練習に行く事が楽しくなりいつも試合が楽しみでした。そんな風に思えたのは監督、団長、コーチが暑い日も寒い日もずっと支えてくれたからです。

岩切 颯和

私は、四年生の時に入団しました。最初は、なかなかうまく打てなかったけど、コーチがマンツーマンで教えてくれたり、丁寧に教えてくれたおかげで少しずつ、うまく打てるようになっていきました。先輩方やコーチが審判のやり方や試合のルールも細かくていねいに教えてくれました。五年生になってもあまり、試合に勝てないことが多かったけど、友達がサーブのやり方を教えてくれたり、

コートもダメなところやおかしいところを見つけたら、すぐに教えてくれました。言われたことを意識して試合や練習に取り組むと、少しずつ試合で勝てるようになりました。コーチから遠征の時に、ここに来れ

たり、テニスをできているのはお母さんやお父さん、協力してくれている大人たちのおかげだよ。と言われ

て、協力してくれている人たちのおかげという感謝の気持ちも教わりました。中学校でも、助けてくれる人への感謝の気持ちを忘れずにいろんなことに挑戦していきたいです。

本間 初佳

私は、四年生から杉戸ジュニアに入団しました。最初は、ラケットにボールを当てることも難しかったです。大会に出てもなかなか勝てず、悔しい思いをしました。夏の暑い日も冬の風の強い日も、監督、団長、コーチと団員の仲間と共に練習したことは確実に私の実力につながっていると思います。六年生になり勝てるが増えてとても嬉しいです。指導者や保護者にも感謝の気持ちでいっぱいです。杉戸ジュニアで学んだ礼儀や粘り強さを中学校でも継続していきたいです。

僕は、六年の夏に杉戸ジュニアテニススポーツ少年団へ入団しました。新しい仲間に出会い、大会にもたくさん出場することが出来そのよ

新井 葵心

うな恵まれた環境の中で技術だけでなく精神面も成長できたと思います。温かく、時には厳しくご指導いただいた監督・コーチの皆様、本当にありがとうございました。これから新しいステージに進みますが、ここで学んだことを胸に努力を

続けていきたいと思っています。

平井 湊都

杉戸ウエストジュニア



ぼくは、親友にさそわれて、バレーボールを始めました。

一番最初のころは、きつくて、つらかったけど今は、なかなか体力がついてきたり、声もでてくるようになりました。

レギュラーとして、試合にもでられるようになり、とても楽しい日がつづくことも多くなりました。そして、バレーボールをやっている、一番学べたことは、礼正しさです。

遠征などにいくと、お弁当がいやおくりむかえをもらうことを、感しやる事がふえていったのでこれからも、大切にしていきたいです。

小暮 椿季

僕は、一年生の冬からバレーボールを始めました。運動が苦手です

然できませんでしたが、バレーボールをやるうちに体力がついて、運動が前よりもできるようになって嬉しかったです。試合に出ていいプレーはできなくて、悔しい思いもしましたが、教えてくれた監督、コーチ、チームメイトなどに支えられて僕は成長できました。これからも中学校でバレーボールを続けていきたいです。

土生 敦貴

ぼくは、お兄ちゃんがバレーボールを習うようになり、自分もやってみたいと思ったので、バレーボールを始めました。

一番最初のころは、監督がものすごく怖く、練習もつらかったのでもうやめてしまいたいと思っていました。

けど今は、監督のつらい練習のおかげで、なんとレギュラーとして、試合にも出られるようになり、前まで思っていた、もうやめてしまいたいという気持ちがなくなりました。

「バレーボール楽しいな」と思えるようになりました。

これからも、バレーボールを続けていき、もっと高い目標に向かっていきたいと思っています。

長谷 輪丸

僕は、アニメがきっかけでバレーボールに興味を持ち、四年生の秋に始めました。最初は不安でチー

ムに打ち解けられるか心配だったけど、チームの皆や監督、コーチのおかげで楽しく続けることができました。練習では辛いことも沢山あったけど「辛いことを乗り越えたらまた一歩成長出来るぞ」と言われたことで心に火がつき、上達することが出来ました。これは一生忘れられない思い出です。

門井 稜真

私は五年生後半頃に杉戸ウエストに入団しました。最初は男子が多いという環境で怖かったけれど、チームの皆が友好的なおかげで楽しく過ごせました。夏の合宿では中々外せなかったマスクも監督の言葉とチームの皆の相変わらずの対応で、マスクを外せるようになりました。この思い出を鍵にして、様々なことに挑戦しようと思えます。皆と過ごした思い出は、私の一生の宝物です。

佐藤 伶奈

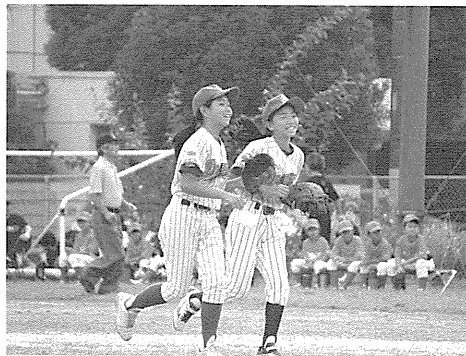
ぼくは、二年生の秋に入団しました。アニメの「ハイキュー」に興味があったこと、一緒に兄も始めたことがきっかけです。

はじめのころは、体力もなかつたから大きな声も出せませんでした。しかし、かんとく、コーチの指導、仲間たちと一緒に楽しく楽しくプレーすることで体力もつき、県大会出場を経験することができました。いつでもみんな

頑張ったこと、とても良い思い出です。これからも好きなバレーを頑張りたいです。

猿渡 透真

杉戸西ドラゴンズ



私は兄が野球を楽しそうにやっているのを見て一年生の時に西ドラに入団しました。最初は緊張していたけれど打った時や捕れた時に皆がほめてくれてとても嬉しかったのを覚えています。四年生まで同級生はいませんでした。五年生になった時に同級生が入団し、おかげで西ドラでの野球がもっと楽しくなり、もっと頑張ろうという気持ちになりました。とても楽しい六年間でした。中学生になっても西ドラで教わった事を忘れずに頑張りたいです。

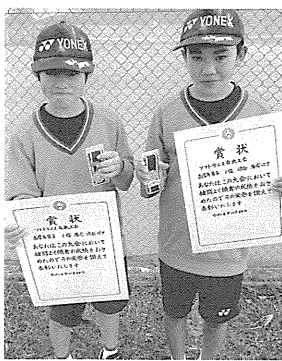
金子 千寿那

私は、三年生の十月から野球を始めました。そして、五年生の四月から杉戸西ドラゴンズに入団しました。最初は、練習がきつくて大変だったけれどだんだん慣れていきました。仲間と力を合わせて、一生懸命に野球に打ち込むことができました。杉戸西ドラゴンズでたくさんさんの思い出をつくることができました。

中学生になっても、野球を続けるので、教えていただいたことをしっかりと活かして、良いプレーができるように頑張りたいです。

小山 夢紀音

高野ジュニアソフトテニスクラブ



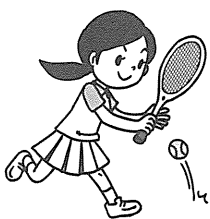
た。六年生になって組んだ子と一緒に練習ができたことと勝ったことが今の僕の自信になっています。キャプテンとして礼儀など色々な事を教わりました。コーチの方々が指導ありがとうございます。

渋谷 大翔

僕は、高野に入団したのは五年生の秋くらいでした。入団したのは、兄弟がテニスをしていてお母さんに勧められたのでやりました。でも僕は、ゲームが好きで練習はいやでした。でも少しずつ打てるようになって、試合にも勝てるようになりました。テニスをやるにおいてコツコツ練習を続けることは大切、ということに気づきました。そしてペアのおかげで少しずつ上達していききました。コーチの皆様指導してくださり感謝しています。

落合 桜志郎

僕は、小学三年生の時に高野ジュニアに入団しました。試合の時に最初はなかなか勝てなくてくやしい思いばかりをしていただけだたくさん練習を積み重ねていつか段々勝てるようになってきま



杉戸西剣友会



僕は、二年生の春頃に杉戸西剣友会に入団しました。厳しい稽古をみんなで耐えて精神力や体力が鍛えられました。試合をすることで集中力や足の瞬発力も鍛えられました。武道の「礼で始まり礼で終わる」などの礼儀作法も学び、今後の生活に生かしていきたいです。それを教えてくださった先生方や、支えてくれた保護者の方々に感謝しています。杉戸西剣友会に身につけたものを中学校や今後の人生に生かしたいと思っています。

片所 樹希

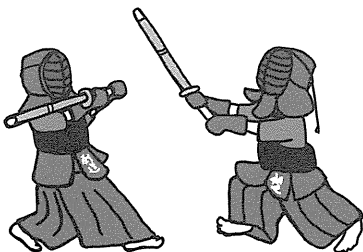
僕が剣道を始めたのは一年生の時で入団前に練習風景を見て、竹刀を振る姿が格好良く自分も始めてみたいと思ったからです。剣道

を通して努力と忍耐力、集中力と決断力が身に付きました。それは今まで指導してくださった先生方と、仲間であり時にライバルでもあった同学年の友達がいたからだと思えます。これまでの経験を活かし中学に行っても頑張ります。六年間ありがとうございました。

齋藤 慎

僕は剣道を始めて、出来るようになったことが二つあります。一つ目は、臨機応変に動けるようになったことです。剣道は、試合の状況によって動き方が変わります。これを中学生でも生かしていきたいです。二つ目は、我慢強くなったことです。これからも苦しいことにも果敢に挑戦していつか、精神を強くしていきたいです。また、剣道を通じて関わったたくさんの方々に感謝しています。

佐瀬 聡太



杉戸体操クラブ



私は、五年生の夏ごろに体操クラブに入りました。最初は分からなかった事も友達やコーチにきいてできる事が増え、体操が楽しくなりました。分からない事やできない事も自分からきく事が大切だと学びました。

これからも、この経験を生かして色々な事に挑戦し、できる技を増やしていきたいです。

加藤 華穂

私は、体操を一年間習っていました。でも、次々と入ってきた人にぬかされて、ずっと悔しみに続けてきました。だけどその悔しみに続けた結果が十二月の大会で、出せました。団体三位で団体の中一位が私でした。そして床の競技で五位をとりました。これまで悔しくてたくさん練習をしてきた成果がでたんじゃないかなと思えました。

菊地 羽南

ぼくは、二年生のころに体操を始めて、すぐに、前宙が出来るようになりました。

それからは、もつと難しい技にこだわるようになりました。その練習では、失敗したらあきらめて、失敗したらあきらめての繰り返しでした。それでも、成功したときの気持ちはとても最高でした。今は、ロンバク宙という技にチャレンジしていて、中学生になるまでに

できるようになっていきたいです。中学校でも体操をがんばりたいです。

小暮 椿季

私は、四年生の時に体操クラブに入りました。最初の時は遊ぶことばかりでまともにできていなかったけど年れいが大きくなるにつれて、いろんな技ができるようになったりして五年生のころには仲が良い友達が入ってくれて楽しい毎日をおくれました。一人だけじゃできないことがたくさんあり大変だけど無理せずすることが大切だと学びました。

後藤 美久

教育委員会 社会教育課
スポーツ振興担当

☎0480-33-1111
内線493



上原 凜花